

- 将来を担う人が育つまちをつくる
- 安心して生活できるまちをつくる
- 賑わいのあるまちをつくる
- 暮らしやすいまちをつくる



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 ● 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時
ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

町田市
ホームページ
QRコード



今号の紙面から ● 別刷 特集 スポーツで人とまちが一つになる

自分たちの思いを歌にして届けたい

サークル活動の成果を発表したい

大学で学んだことを地域に生かしたい

健康や暮らしのヒントが欲しい

身近な法律等を仲間と学びたい

子ども向けイベントを企画したい

同じ趣味の仲間を見つけたい

音楽を聴きたい、弾きたい

若い人と一緒にサークルで学びたい

育児について話したい、聞きたい

町田をもっと知りたい、だから調べたい

皆さん、それは... 学びです。

学びが人生を豊かにする

“学び”は、知識や技術の習得だけでなく、日常生活の楽しみや心の豊かさにつながります。学びを通じて、一緒に活動する仲間や地域とのつながりができるなど、学びは人と地域を元気にします。生涯学習センターでは、皆さんの学びのお手伝いをしています。

問 生涯学習センター ☎ 728・0071

写真協力:生涯学習センターを利用している皆さん

2018のぎくの会

町田の自然を知り、友だち作りも

「2018のぎくの会」の皆さんは、まちだ市民大学HATSの講座「多摩丘陵の自然入門」の受講をきっかけに、意気投合したメンバーです。講座終了後も、継続して学びを深めるため、同会を立ち上げました。

【藤井つね子さん】

町田に5年ぶりに戻ってきて、所属しているボランティア団体からの勧めで参加しました。自然だけでなく、歴史等も知ることができました。友だちを作ることもできて本当に良かったです。

【長島かつ枝さん】

私は、鶴見川や恩田川が好きで、自然の中を歩きたいと思い参加しました。何をやるかわからない方には、とりあえず参加してみることをお勧めします。



加藤沙耶香さん

ここは第2の学校・第2の家

私には障がいのある友人がおり、理解を深めるにはどうすればいいのかと考えていました。生涯学習センターで障がい者青年学級のボランティアスタッフ募集を知り、障がいについて学ぶ良い機会だと思い応募しました。障がい者青年学級の活動をきっかけに、他の活動にも興味湧き、現在は大人の学び直しの会「まなびテラス」のお手伝いもしています。

「生涯学習」を通じて、さまざまな年代の方と話すことで、自分の知らない世界に気づき、“知る”ことの楽しさ・面白さを学びました。ここは、みんなと一緒に経験・成長できる場であり、第2の学校、第2の家という感覚です。

